



赤ちゃんの歯について

NO.30

赤ちゃんのお口の中に関するトラブル

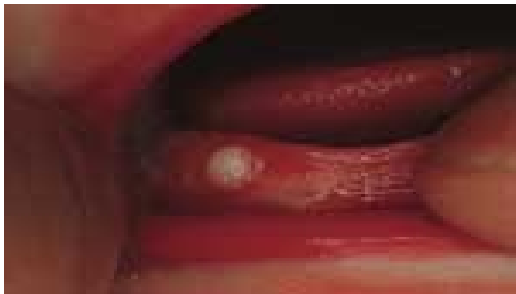
①舌が大きすぎる！

舌が大きいのは正常な状態なので心配いりません。生まれた時の赤ちゃんはお乳を吸いやすいように、口の中は全体に浅くて舌が大きく、歯ぐきの上にまではみ出すようになっています。

歯が生え始めるのは個人差はありますが、およそ生後6カ月前後頃で、下の前歯から出てくることが多いです。その頃にはお口全体も深く長くなって、舌は歯ぐきの内側にすっぽりおさまって「噛む」準備が始まります。

②歯ぐきに白い真珠のような固いふくらみが？

歯ぐきにできる白い真珠のような固いふくらみは、上皮真珠といい、発育が進むと自然に消えるので放っておいて大丈夫です。



③歯が出生直後～生後1か月以内に生えてきた

生まれてすぐや生後1か月以内に歯が生えてくることがあります。これはあわてんぼうの歯と必要でない余分な歯の場合があります。あまり早くと授乳のとき、お母さんのオッパイを噛んだり、赤ちゃん自身の舌などを傷つけてオッパイが飲みづらくなります。問題があれば歯科医に相談しましょう。

時期別お口のお手入れ

歯が生える前に歯磨きトレーニング

お口の中に指を入れて歯ぐきをなでてみてください。抵抗がなくなったらガーゼで歯ぐきを拭いてみるのも良いでしょう。

歯が生えたら歯磨きスタート

生え始めのトレーニングは続けて夜寝る前の習慣にしましょう。1本でも歯が生えてきたら歯磨きを始めましょう。歯の数が少ないうちは、ガーゼや市販のお手入れティッシュなどを使って歯の汚れをふき取るようにします。上下8本ぐらい歯が生えたら歯ブラシで磨くようにしましょう。1歳を過ぎたら歯磨きの習慣づけに歯ブラシを子供に持たせて自分で磨かせて、そのあとで仕上げ磨きをしましょう。



1日1回は時間をかけて歯磨きをしましょう

1日に1回は念入りに時間をかけて磨いてください。ブクブクうがいができない赤ちゃんは歯磨き粉をつけずに磨くことをお勧めします。1歳6か月以降であれば、歯磨きの後にフッ素ジェルなどを使うと虫歯予防に効果的です。ブラシ部分が歯に当たっているか確認しながら磨いてあげてください。無理やり続けて歯磨きが嫌いになっても困るので、できるだけ機嫌のいい時間帯に楽しい雰囲気で行うようにしてください。



社団法人

柏歯科医師会

Http://www.kamukamu.or.jp

Email:kda@cc.rim.or.jp

